

第3章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 計画推進の視点
- 3 基本方針
- 4 施策体系図



1 基本理念



幸せと未来をつなぐ

子育てのまち・安城

子どもが健やかに育つことは、子どもや保護者の幸せにつながるだけでなく、これからの社会の担い手を育成するという社会全体の重要な課題といえます。

本計画では、第1期計画の考え方を継承し、今後も家庭・地域・社会の一体的な取組を推進することにより、すべての子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを地域社会全体で支援し、子育てを通して子ども・保護者をはじめ市民一人ひとりが幸せを実感でき、未来につながるまち、「幸せと未来をつなぐ 子育てのまち・安城」を目指します。



2 計画推進の視点

(1) 子どもの最善の利益が確保される

子どもの視点に立ち、社会的な支援の必要性が高い子どもを含め、すべての子どもに対し、一人ひとりの健やかな育ちが等しく保障されるよう計画を推進します。

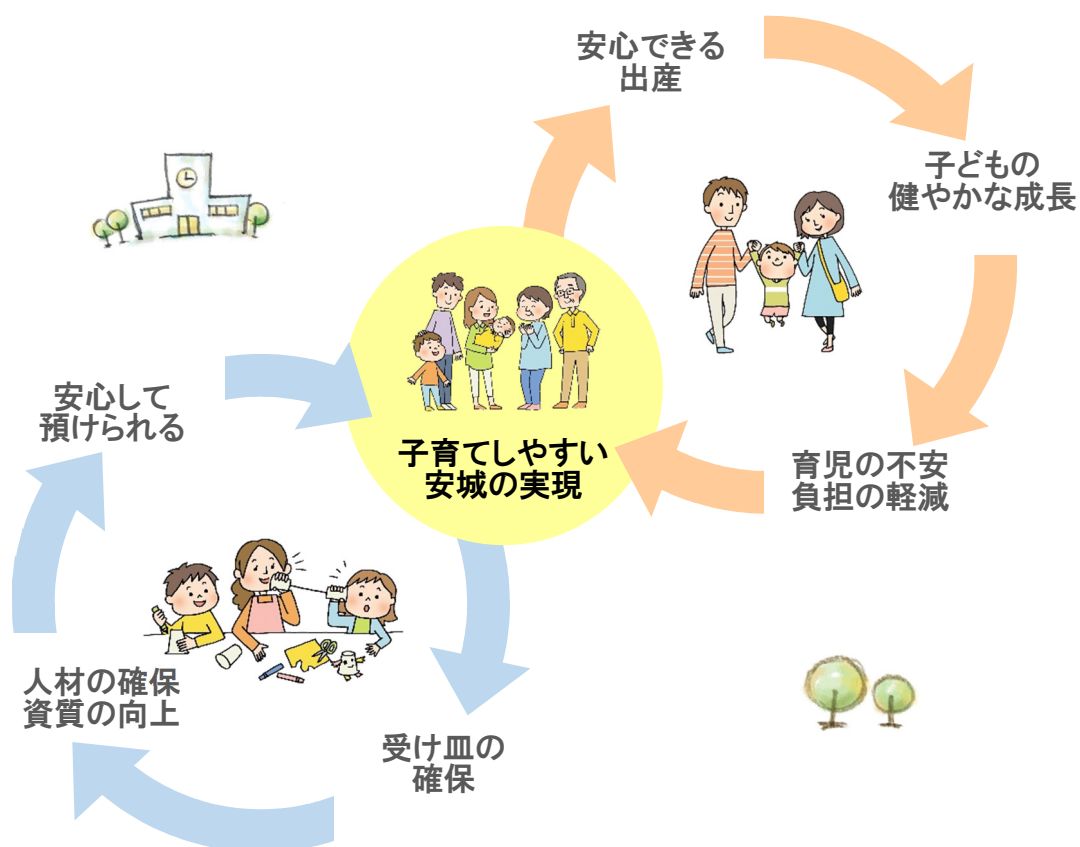
(2) 保護者に寄り添い、保護者も成長する

子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげます。保護者が自信を持って子どもと向き合い、成長し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう計画を推進します。

(3) 子育て家庭を支援する環境を整備する

子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境が変化する中で、本市に住む全ての子育て家庭を支援できる環境整備を検討します。

◆視点を踏まえた子育て支援の目指すべきサイクル



3 基本方針

(1) 安全・安心な妊娠・出産・育児のための保健対策

核家族化の進行や地域社会の変化等により、妊娠期や産後に不安や困りごとを抱えこんでしまい、産前・産後うつ等になる人の増加が社会問題となっています。

そのため、妊娠・出産への支援を充実するとともに、子どもの健康増進や小児医療の充実を図るなど、安全・安心な妊娠や出産、育児をするための保健対策を推進します。

(2) 幼児期の教育・保育環境の充実

共働き家庭の増加や家族形態の変化等から、第1期計画を推進するうえで、低年齢児の保育ニーズの増加への対応が大きな課題となっています。

多様化する保育ニーズを満たすための幼児教育・保育の量の確保を図るとともに、乳幼児期の重要性や特性を踏まえた幼児教育・保育の質の向上に向けた取組を推進します。

また、引き続き、子どもの一時的な預りや延長保育、休日の保育等の保育サービスを実施します。

(3) 学童期からの「生きる力」を育む環境整備

子どもは、将来の社会を築き、支えていく重要な役割を担っています。社会の変化が激しくなる中で、自分らしく生きることができ、自立していくためには、生きる力を育む必要があります。

そのため、多様な学びの場の充実を図り、豊かな心を育てます。

また、悩みを抱える子どもの相談、支援体制を充実させるなど、青少年の健全育成に取り組みます。

(4) 子どもの居場所づくり

共働き家庭の増加により、放課後に子どもが安心して過ごせる環境に対する保護者の需要が高まっています。児童クラブに対する需要は増加の一途をたどり、低学年のみならず高学年にまで及んでいます。本市は児童数が減少しているものの、全国的な傾向と比較して緩やかであるため、小学校の空き教室の確保が難しい状況となっています。

このため、新たな児童クラブの整備をはじめ、子どもが放課後に安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進します。

(5) 支援を必要とする子どもや保護者への対策

子育てをめぐる環境や社会環境は変化しており、ひとり親に対する支援を進めていますが、生活に困窮し、子どもの貧困に直面している家庭は少なくありません。また、近年では発達障害などの特性や早期療育の有効性への理解が進んだということもあり、障害児支援に係る福祉サービスの利用者数が増えており、今後も増加が予想されています。更に、子どもの心身に深刻な影響を与え、子どもの権利の侵害となる児童虐待等が社会問題となっています。

このような状況を踏まえ、ひとり親家庭等の自立した生活への支援を行い、発達障害をはじめとする障害児に対する適切な支援を安定的に提供できるよう民間活力を導入した施設整備を促進し、虐待を未然に防ぐため、関係機関との情報交換、連携の強化を図るなど、支援が必要な子どもや保護者への対策を推進します。

(6) 子育てしやすい社会環境の整備

ライフスタイルに対する意識や価値観の多様化に伴い、仕事と家庭を両立させるために男性の育児への参画を促すなど、誰もが子どもを産み育てたいと思う環境の整備が必要です。

そのため、ワーク・ライフ・バランスの推進をはじめとして、安心して子どもを遊ばせることのできる場所の整備や、子育てに係る負担を軽減することにより、全ての子育て家庭が子育てしやすい環境を整備します。

(7) 地域社会における子育て支援

家族形態の変化や価値観の変化から、地域のつながりは希薄化が進んでおり、身近な人々から子育てに対する支援や協力を、簡単には得られない状況となっています。

そのため、利用者にあった情報提供体制の整備など、きめ細かい子育て支援サービスの充実を図ります。そして、子育て家庭と地域との交流による子育て支援ネットワークの構築を推進し、地域コミュニティの中で子どもが育まれる環境の整備に努めます。

4 施策体系図

